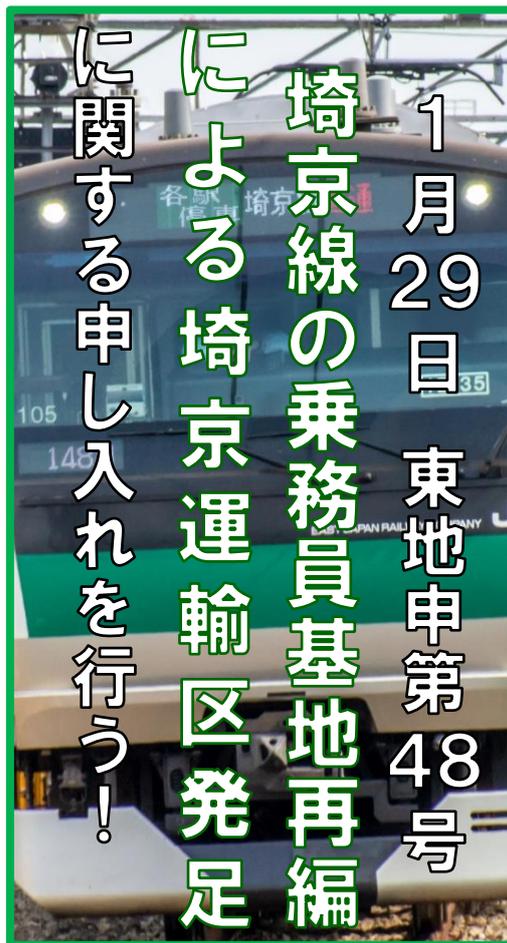




2024年3月のダイヤ改正に併せて「埼京運輸区」が発足します。

ダイヤ改正は「安全・安定輸送の確保」を前提に「輸送品質の向上」が図られなくてはなりません。しかし、現場では“オフィス検討ワーキンググループ”が発行した「レイアウト」と「フロアコンセプト」が掲出されるのみで、具体的なことは一切明かされていません。現場への不十分な説明によって、組合員のみならず、乗務員基地再編成に関わる社員の不安を募らせています。

乗務員基地再編成施策を通じた「新たな職場の目指すべき姿の実現」に向けて、関係するすべての社員が「やりがい」「働きがい」を実感できる施策とするため、地本は首都圏本部に対して下記の項目で申し入れを行いました。



1. 埼京運輸区を発足することによる、現行よりも社員とお客さまへ関わるメリットを明らかにすること。
2. 会社が考える今後の埼京運輸区の展望と位置づけを示すこと。
3. 朝の通勤・通学時間帯の大崎駅での次列車までの乗り継ぎ時間に柔軟性がない行路は解消されるのか示すこと。
4. フロアレイアウトで見る限り、使用する乗務員数に対して休憩・待機エリアに狭さを感じるが、どのような想定で決めているのか考え方を示すこと。
5. 運転士・車掌とも日勤行路が1行路しかないが、年休を1日しかとらなかった場合その乗務員の勤務形態はどうなるのか明らかにすること。
6. 本区泊まりが設定されていないが、勤務終了後等でシャワー設備を使用することは可能なのか明らかにすること。
7. 基地再編成後、埼京運輸区の執務スペースと大崎運輸区乗務員休憩詰所は別に設置すること。

**安全、安心で働きがいのある「埼京運輸区」をつくり出そう！**